「挨拶で笑顔あふれる明るい社会」

南比都佐小学校　6年　中井（なかい）　茉夏（まな）

私は、社会を明るくしていくために、挨拶をすることが大切だと思います。挨拶とは、自分の気持ちを表すことができ、前向きな気分を生むことができるものだと考えます。挨拶をすることで嫌なことがあったときは気持ちが晴れ、自然と表情や声が明るくなることがあります。そして、人とのかかわりが深まり、今よりもっと安心できる環境になると思います。もともと、「挨拶は毎日しているけど、なんの意味があるのだろう」と思っていました。そんなとき、ある出来事をきっかけに、挨拶の大切さを感じるようになりました。

その出来事は、私が六年生になり、入学式で一年生と出会ったときの話です。初めて出会った一年生はとても緊張していてこわばった表情をしていました。私も緊張していましたが、

「おはよう」

と、声を掛けました。すると、その子も少し恥ずかしそうに「おはよう」

と、返してくれました。そのことをきっかけにお話をしたり、休み時間に遊んだりするようになりました。挨拶をすることで、変われることがあるのだと実感しました。年齢や学年に関係なく、自分から挨拶をしてたくさんの人と仲良くなっていきたいと思いました。

私は以前、自分から挨拶をすることが少し苦手でした。私が一年生になって間もないころの登校のときの話です。地域の人が笑顔で挨拶をしてくださいました。私も挨拶をしようとは思いましたが、恥ずかしい気持ちや、「変に思われないかな」と考えてしまい、声を出すことができませんでした。でも、そんな私に

「緊張しているのかな、学校頑張ってね。」

と、声をかけてもらいました。その瞬間、私はとても安心しました。そして、挨拶をする

こ
と
は
思
っ
て
い
た
よ
り
も
簡
単
な
こ
と
だ
っ
た
ん
だ
な
と
気
が
付
き
ま
し
た
。
自
分
が
心
配
し
て
い
た
よ
う
な
こ
と
は
何
も
起
こ
ら
な
か
っ
た
か
ら
で
す
。
そ
れ
ど
こ
ろ
か
、
挨
拶
を
す
る
こ
と
で
心
が
あ
た
た
か
く
な
り
ま
し
た
。

　
ま
た
、
私
は
、
挨
拶
を
す
る
人
が
増
え
る
と
、
人
と
の
つ
な
が
り
も
増
え
る
と
思
い
ま
す
。
例
え
ば
、
学
校
の
先
生
や
友
達
、
地
域
の
人
な
ど
に
毎
日
挨
拶
を
す
る
と
、
顔
を
知
っ
て
い
る
人
が
増
え
ま
す
。
そ
う
す
る
と
、
困
っ
た
こ
と
が
あ
っ
た
と
き
、
話
し
か
け
や
す
く
な
り
ま
す
。
反
対
に
、
誰
も
挨
拶
を
し
な
い
社
会
に
な
っ
た
ら
、
人
と
人
と
の
関
わ
り
が
少
な
く
な
る
か
も
し
れ
ま
せ
ん
。
そ
う
す
る
と
、
困
っ
て
い
る
人
が
い
て
も
す
ぐ
に
気
が
付
け
ら
れ
な
く
て
声
を
か
け
ら
れ
な
か
っ
た
り
、
相
手
の
こ
と
を
知
る
き
っ
か
け
が
減
っ
た
り
す
る
と
思
い
ま
す
。
だ
か
ら
私
は
、「
挨
拶
を
し
な
い
と
い
け
な
い
」
と
思
う
の
で
は
な
く
て
、「
人
と
関
わ
っ
て
み
よ
う
」
と
す
る
気
持
ち
が
大
切
だ
と
思
い
ま
す
。

　
そ
し
て
、
そ
の
気
持
ち
を
表
す
行
動
の
一
つ
が
、
挨
拶
な
の
で
は
な
い
で

しょうか。中には、「挨拶くらい」と思う人もいるかもしれません。でも、私は、「挨拶くらい」で終わらせてはいけない大切なものだと思います。私が勇気を出して言った「おはよう」の一言が、相手の笑顔につながるかもしれない。そして、その笑顔がまた別の人へ広がるかもしれない。だから私は、まず自分から一歩踏み出します。

挨拶は、たった数秒でできる小さな行動です。もちろん、挨拶をしただけで社会のすべてがかわるわけではありません。でも、その数秒が誰かを明るくし、新しいつながりを生むことがあります。たった一言の「おはよう」や「こんにちは」「ありがとう」を言うことで、相手や自分の気持ちを明るくすることができると思います。そして、ひとりひとりが挨拶をすることで、学校や地域に笑顔が増え、誰もが安心してすごせる明るい社会につながっていくのではないでしょうか。以前は挨拶をすることに勇気が必要だった私も、これか

らはその一歩をおそれず、自分から声をかけていきたいです。そして、毎日の挨拶を大切にし、笑顔あふれる明るい社会をつくっていきたいです。

20 × 20